

コース名	社会経済システムコース
コースの概要	
<p>所得や健康、教育の水準をみれば明らかのように、現代経済が人々の幸福に貢献していることは間違いありません。しかし、その一方で環境汚染、福祉問題、貧富の差の拡大、世界同時不況、国際紛争の頻発など、国内外を問わず様々な問題が深刻化し、私たちの暮らしを脅かしています。本コースでは経済理論を基礎として経済学の諸分野と連携をとりながら、歴史、政治、社会学および環境、福祉、医療、労働、食料の問題など社会科学各分野の専門家たちが、学生一人一人の関心に沿う形で、現代社会の光と闇を見定める手法と考え方を教授します。</p> <p>本コースの第一の特徴は、社会経済をひとつのシステム（仕組み）として理解することです。社会経済システムは諸分野が連関を保ちながら、問題解決のなかで変貌していくダイナミックな過程です。このシステムの理解のうえに、現代社会の問題を多角的に考察します。</p> <p>第二の特徴は、歴史と文化の重視があげられます。経済発展と社会問題の発生・解決の努力には長い経緯があるものです。また合理的な観点からは割り切れない、民族、文化、宗教といった要素も関わっています。われわれは、こうした背景への理解をふまえて、現代経済を学ぶことが必要だと考えています。</p> <p>第三の特徴は、環境、福祉、医療、労働、食料、景気変動などの社会問題をグローバル化（地球化）の視点からとらえ、その解決のための政策と実践を探ろうとする点です。国境を越えたヒト、モノ、カネ、情報の流れが加速し、世界各地の社会や経済の動きが日本経済に大きな変動を引き起こしているのです。</p> <p>本コースでの学びは、激動する現代社会のなかで、周りに流されずに生きてゆくために誰もが身につけなければならない深い理解力と実践力を習得することにあります。</p>	
コースを選択するうえで必要な事前学習	
<p>現代の経済や社会について理解を深め関心をかきたてる本を一年生のうちに出来るだけ読んでおいて下さい。私たちは次の本を推薦します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○レイチェル・カーソン『沈黙の春』（新潮文庫）、新潮社、1974年。 ○日本経済新聞社編『経済学 名著と現代』、日本経済新聞出版社、2007年。 ○アダム・スミス『国富論－国の豊かさの本質と原因についての研究（上・下）』（山岡洋一訳）、日本経済新聞出版社、2007年。 ○アダム・スミス『道徳感情論』（講談社学術文庫）、（高哲男訳）、講談社、2013年、または（日経BPクラシックス）、（村井章子・北川知子訳）、日本経済新聞出版社、2014年。 ○スティーヴン・D・レヴィット & スティーヴン・J・ダブナー『ヤバイ経済学 [増補改訂版]』（望月衛訳）、東洋経済新報社、2007年。 ○大久保幸夫『キャリアデザイン入門（Ⅰ、Ⅱ）』（日経文庫）、日本経済新聞出版社、2006年。 ○柴山桂太『静かなる大恐慌』（集英社新書）、集英社、2012年。 ○城繁幸『若者はなぜ3年で辞めるのか?－年功序列が奪う日本の未来』（光文社新書）、光文社、2006年。 ○川北稔『砂糖の世界史』（岩波ジュニア新書）、岩波書店、1996年。 ○川北稔『イギリス近代史講義』（講談社現代新書）、講談社、2010年。 ○竹内裕『日本の賃金－年功序列賃金と成果主義賃金のゆくえ』（ちくま新書）、筑摩書房、2008年。 ○環境省『環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書』 環境省ホームページ、http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/ より公表。 ○湯浅誠『反貧困－「すべり台社会」からの脱出』（岩波新書）、岩波書店、2008年。 ○堤未果『沈みゆく大国アメリカ〈逃げ切れ！日本の医療〉』（集英社新書）、集英社、2015年。 ○阿部彩『子どもの貧困－日本の不公平を考える』（岩波新書）、岩波書店、2008年。 ○小塩隆士『18歳からの社会保障読本－不安のなかの幸せをさがして』、ミネルヴァ書房、2016年。 	

コースの授業科目			
科目名	単位	科目名	単位
ミクロ経済学 I -A	2	景気循環論	2
ミクロ経済学 I -B	2	調査データ解析	2
マクロ経済学 I -A	2	質的調査法	2
マクロ経済学 I -B	2	環境経済学-A	2
政治経済学-A	2	環境経済学-B	2
政治経済学-B	2	経営学と経済学で出る数学	2
社会経済学概論	2	経営組織論-A	2
社会政策-A	2	経営組織論-B	2
社会政策-B	2	人的資源管理-A	2
農業政策-A	2	人的資源管理-B	2
農業政策-B	2	情報システム論-A	2
労働経済論-A	2	情報システム論-B	2
労働経済論-B	2	経営史-A	2
社会調査論	2	経営史-B	2
経済史総論-A	2	国際経営論-A	2
経済史総論-B	2	国際経営論-B	2
西洋経済史-A	2	比較経営論-A	2
西洋経済史-B	2	比較経営論-B	2
日本経済史-A	2	憲法 I (人権)-A	2
日本経済史-B	2	憲法 I (人権)-B	2
社会学総論-A	2	憲法 II (統治機構)-A	2
社会学総論-B	2	憲法 II (統治機構)-B	2
産業社会学	2	政治学-A	2
地域社会学	2	政治学-B	2
日本産業論-A	2	労働法 I -A	2
日本産業論-B	2	労働法 I -B	2
統計学-A	2	労働法 II -A	2
統計学-B	2	労働法 II -B	2
その他コースに関する情報			
<p>本コースの修了生は、コース概要で述べた基本能力を豊かに身に付けることによって、企業、行政、大学院進学はもとよりメディア、福祉、NPOなど幅広い社会の要請に応えることができるでしょう。学びを通して自分の生き方を見つけ、社会貢献していくことが期待されます。</p>			
問い合わせ先			
<p>経済学科 大西 吉之(おおにし よしゆき) oonishi@eco.u-toyama.ac.jp</p>			